

# 伝え、続く、足助

—重要伝統的建造物群保存地区選定 10周年プロジェクト—

橋本雅好研究室 企画 服部ほの華 堀田明来



## 活動報告



instagram を活用し、過去の先輩達のプロジェクトのアカウントを概要に記載し、情報を発信した。また、ガイドツアーのチラシや釜カステラをマルシェのポスターに記載して頂いた。また、中日新聞に取材を受け、二度記事していただいた。

## アンケート調査

- 足助の釜カステラ
  - 川村さんの協力により、24 食販売することができた。24 人の方にご購入頂いた。そのうち 16 人の方からアンケートにご回答頂いた。結果の一部を以下に示す。(回答率 66.7%)
  - Q1.「足助の釜カステラ」を知ったきっかけは何ですか？
    - 足助の Instagram 名、足助マルシェのチラシ 11 名、友人知人から 1 名、たまたま会場で知った 1 名、その他 2 名 (新規)
    - Q2.「足助の釜カステラ」がまた販売されたらまた購入したいですか？
      - はい 14 名、いいえ 0 名、未回答 2 名
  - ガイドツアー
    - 9月23日と10月30日の午前と午後の部に分け、合計10グループのご家族に参加していただき、グループの親の方にご記入頂いた。結果の一部を以下に示す。(回答率 100%)
    - Q1.このガイドに惹かれた理由 (複数回答)
      - 1.家族で参加できるから 2.体験型だから
      - 3.足助に興味があるから 4.学生がツアーするから
    - Q2.感想
      - 「何気なく散歩するよりも、説明があったリクイズがあったので足助に関しての理解が深まりました。子どもたちも喜んで私も嬉しい気持ちで参加できた。」
      - 「丁寧にガイドしていただき面白かったです。古い建物のクイズが良かったです。」
  - ポスター制作
    - 実行委員会が決定したキャッチコピーである 3 つを用いてポスター制作を行った。サイズは B2 と A3 を使用し、キャッチコピーごとに下の詳細を変えた。「やい!おまん 足助 いいだら〜!ほいだもんで こや〜!」で 4 案、「きになる足助」で 4 案、「あかりのつながる町」で 1 案、ポスター 1 案を制作した。

## まとめ

釜カステラでは、川村さんに協力していただき、先輩の釜を引き継ぎ、新たにカステラへと変化する事ができた。ガイドツアーでは、子ども達だけでなく大人も、足助の古き良き町並みを歩きながら魅力を覚えてもらえたと感じた。ポスターでは、実行委員会の方々の協力を得て 3 つのキャッチコピーに沿った 10 種類のポスターを制作することができ、より 10 周年を盛り上げることができると考える。

# 釜カステラ

## 過去プロジェクト



昨年度、橋本雅好研究室の岩田梨沙さんが取り組んだ「足助の釜井」のお手伝いで (2020 年 11 月 15 日、2021 年 2 月 21 日) のマルシェの日に足助の釜井の販売を行った。また、(2021 年 3 月 14 日) ガイドツアーに参加し、お手伝いを行った。そして、足助の古い町並み歴史にとっても興味を持った。

## 企画詳細



- 足助の釜カステラ
  - 「足助の釜カステラ」とは、豊田市足助の町にあるお釜稲荷神社にフォーカスを当てた特産品である。足助に古くから言い伝えられているお釜稲荷神社の伝説に登場する大きな釜とキツネをモチーフとし、カステラのデザインもそのデザインもキツネが足助の釜に化けたようなイメージで作った。表面はキツネの顔のイメージしたデザインとし、キツネの目のイラスト部分に切り込みを入れて耳が立っているようにした。また、側面にはお釜稲荷神社の伝説の話、10 周年のロゴ、足助の釜カステラの説明を印刷した。
  - カステラのデザインは釜にキツネが化けているイメージ。このデザインの柄はかきつけている様子を見せながら販売した。キツネが化けるというコンセプトなのでカステラの味が化けるような味の变化として、あんに、白あん、いちごジャムの 3 点からお客様のお好みでもらっていただき、途中でつけたり、かけたりして食べてもらい味の变化を楽しんでもらった。
- 毎月第 3 日曜日に足助の新田町駐車場で行われている足助マルシェで限定 24 食販売した。例年、香気溢れ多くの観光客が訪れ 11 月を販売日に設定した。
  - 日付 2021 年 11 月 21 日 (日)
  - 時間 10:30 ~ 売り切れ次第終了
  - 場所 新田町駐車場 (足助マルシェ会場)
  - 販売数 24 食 価格 ¥1,000 税込

## 発信



中日新聞に取材を受け記事にしていたいた。

## 活動報告



企画主催は橋山女学園大学橋本雅好研究室 服部ほの華、堀田明来、足助中央商店街協同組合と日月もなか様 橋本雅好 川村慶の協力による企画とし、足助マルシェで販売を行った。のしデザインは「足助の釜井」の釜の蓋のデザインを引き継ぎ、キツネの顔の部分を伸ばしオリジナリティを出したデザインにした。

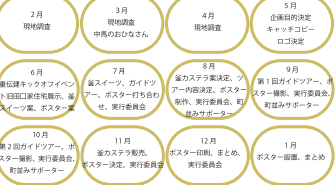
## 企画目的

足助町並みサポーター、重伝選定 10 周年事業実行委員会 (以後、実行委員会とする。)の活動を通して、足助には根屋田鈴木家住宅やお釜稲荷神社など歴史や文化がたくさんあることを知って。香気溢れだけでなく、町並みの古い歴史や文化は、足助地域外の人に認知されていないことを知り、足助の古い歴史や文化について少しでも多くの人々に知ってもらうきっかけを作りたいと感じた。

## 企画について

- 足助の釜カステラ
  - 岩田先輩の「釜井」(足助の田町にあるお釜稲荷神社にフォーカスを当てた特産品)のお手伝いをして、足助所の人や町の人から継続してほしいという言葉を聞き、自分が引き継ぎたいと感じた。足助にはとてもおいしいスイーツや和菓子が、「釜カステラ」を企画した。
- 子ども向け体験型ツアー
  - 足助の足を運んでくれた人々に、見るだけ、歩くだけでは伝わらない足助の歴史や、町並みの魅力を子どもたちにも楽しく伝える。
- ポスター制作
  - 実行委員会が決定したキャッチコピーである 3 つを用いてポスター制作を行った。サイズは B2 と A3 を使用し、キャッチコピーごとに下の詳細を変えた。「やい!おまん 足助 いいだら〜!ほいだもんで こや〜!」で 4 案、「きになる足助」で 4 案、「あかりのつながる町」で 1 案、ポスター 1 案を制作した。

## 年間スケジュール



# 子ども向け体験型ツアー

## 企画詳細

岩田先輩のお手伝い、足助町並みサポーター、10 周年事業実行委員会の活動を通して、足助には根屋田鈴木家住宅やお釜稲荷神社など歴史や文化がたくさんあることを知った。香気溢れだけでなく、町並みの古い歴史や文化は多くの地域外の人に認知されていないことを知り、足助の古い歴史や文化について少しでも多くの人々に知ってもらうきっかけを作りたいと感じた。

ガイドツアーコース

- ①マンリ小路
- ②からくり通り
- ③地蔵堂
- ④根屋田鈴木家
- ⑤田口家
- ⑥井筒亀
- ⑦足助中馬路
- ⑧商工会 (ワークショップアルム(ム作り))

の順番で足助を回り、クイズスタンプラリーを行いながら足助の魅力を説明し、歴史を伝える。

## デザイン



対象者を小学生の子ども連れ家族にし、足助の魅力を楽しく伝えるため、クイズスタンプラリーに参加してもらい、全部スタンプをもらえた子には「子ども足助町並み博士証明書」をプレゼントする。また、子ども一人一つずつのチェキを貸し出し、足助の魅力を学んだ上でお気に入りの写真を撮ってもらう。ガイドツアー終了後は、取った写真でオリジナルのアルバムを作成してもらう。

## 発信



企画主催は橋山女学園大学橋本雅好研究室 服部ほの華、堀田明来、足助中央商店街協同組合による企画する。

## ハンコ制作



正解した場合は右のロゴのハンコをオレンジで押し不正解してしまった場合は左のハンコを押した

## 活動報告



# ポスター制作



「やい!おまん 足助 いいだら〜!  
ほいだもんで こや〜!」

「やい!おまん 足助 いいだら〜!ほいだもんで こや〜!」訳 (ねえねえあなた足助いいでしょう だら来てね)は、「とりあえず足助に来て欲しい!」という思いを、地元三河井を交えながら勢いよく伝えようとして生まれたものである。このポスターは、足助の方々に協力してもらい 4 パターン撮影した。



## 「きになる足助」

「きになる足助」は、楽しいことや面白そうなことをやって、地域の人達がいきいきする足助なら、足助以外の人もつつい気になっちゃうはずと考えた。足助に来てくれた人達を、拒まず、もてなし、足助を「すき」になってもらいたいというイメージから生まれたものである。また、きになるは色々な文字を入れ足助の良さや表現できるようにしており、あきになる、きになる、ときにきになる、すきになるの 4 パターンを制作した。あきになるは、紅葉や祭りがあることから生まれた。すきになる、は足助が好きになってもらいたいから生まれた。きになるは、70 歳の長寿祝いの意味や古語という言葉から生まれた。ときにきになるは、長い時間が経っても古き良き町並みが残っている足助の町並みにあきを生きた。



## 「あかりのつながる町」

「あかりのつながる町」は、人がいなければ魅力が出ないということを経験し、住む人が増えればありが好きな家が連なって行くというイメージから生まれたものである。家が建てられた時代や色そして形もそれぞれ違うことと人々も同じであることに着目し、町並みも人並みで表現した。また、昔ながらの、銀座と呼ばれていた田町の夕景を使用した。全体ポスターは、ポスターを作成する過程や 3 つのキャッチコピーの詳細も記載した。